

令和 7 年 11月 3日

東員町議会 広報広聴委員会 委員長

広田 久男 様

東員町議会 広報広聴委員会

委員 山崎 まゆみ

## 研修報告書

研修期間	令和 7 年 10月 23日 (木) ~ 10月 24日 (金) (2日間)
研修（視察）先	10月 23日 (木) ・・神奈川県開成町議会広報広聴常任委員会 10月 24日 (金) ・・神奈川県寒川町議会広報広聴委員会
目的（テーマ等）	広報広聴の取り組みについて
参加議員名 (複数の場合)	東員町議会 広報広聴常任委員会委員 全員と 議会事務局 1名
資料添付の有無	有・ 

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

10月23（木）開成町議会広報広聴常任委員会

◎広報広聴の取組みについて

説明者＝ 副議長 星野氏、  
広報広聴常任委員会 委員長 井上 氏  
” 副委員長 武井 氏  
議会事務局 副主幹 佐藤（旧姓水野）氏

◎開成町

人口；18,726人

行政面積；6.55km<sup>2</sup>

年少人口割合；14.8%（神奈川県1位）

若い子育て世代に選ばれる町（開成町駅～新宿駅80分）

1、 広報広聴の取組みについて

（1）議員一人1台タブレット端末を活用したICT化の促進

「開成町議会ICT化推進委員会」

●オンライン委員会の開催

●議員がタブレットで動画撮影し、編集して20分の「議会報告会の動画」作成  
⇒YouTubeチャンネルで配信

（2）議会広報改革

●「読む」から「見る=魅せる」・・・トップページムービー（毎月変える）

●令和3年度～6年度まで4年間連続で全国町村議会広報コンクールで奨励賞  
(編集・デザイン部門)受賞

（3）住民に開かれた議会

●議会映像インターネット配信

・コンテンツ 2クリックで得たい情報にたどり着く

・ユニバーサルデザイン

・議員紹介ページ クリックすると議員が動き出す（1分間動画）

・委員会ページ

・キッズモデル 「なるほど～！」や「なんでだろう？」のポーズを  
子どもにしてもらう。（令和5年度から公募開始）

●開成町議会広報は「ウェブサイト」と「広報紙」の両輪。

※令和4年5月から、タブロイド判に紙面サイズを変更

●一般質問の予告動画（20秒）と一般質問終了直後動画（20秒）を議員各自で  
作成。

●ウェブ=見易さ、わかりやすさ、探しやすさ

●キッズページ

●読書アンケート（QRコード添付）

●開成町フェスタに議会として参加

- ・議場、議長室、全員協議会の開放
- ・シールアンケート実施【性別、年代を赤・青丸シール貼ってもらう】
- ・電子採決ボタン押し体験
- ・おしゃべりブースで幅広い世代との直接的意見交換

## 2、広報広聴以外の議会改革について

- (1) 通年会期制（平成 27 年 4 月～）
  - ・開成町「あじさいまつり」の開催{6 月}に合わせて実施
  - ・無料託児サービス
- (2) 日曜議会（平成 17 年度～）
  - ・各常任委員会の活動報告
  - ・地域の現状や課題について意見交換
- (3) 議会報告会（平成 21 年 10 月～）
  - ・各常任委員会の活動報告
  - ・地域の現状や課題について意見交換
- (4) 議場の利活用
  - ・小中学校の授業に使用を推進し、学習の場として開放
  - ・模擬議会の開催
    - 小学生に議会の役割を説明
    - ・夏季における議場を自習室として一般開放を実施{20 席・先着順}
    - 令和 6 年度利用実績=24 日間でのべ 176 名利用
- (5) 小学校への出前授業
  - ・ざっくばらんに話し合い、質疑する
  - ・「最終的に決めるのが議会である」と児童に伝えている。
- (6) 議会インターンシップの受け入れ（大学生、大学院生、専門学校生、高校生）
  - ★神奈川県初！
    - 主体的に地域社会や政治に関わる姿勢を身につけられるように期待
    - 学生などからの意見や疑問→これまでの活動、取組を再考し改善
      - より良い町運営に活かす
    - 実習期間の最終日に発表してもらう（修了証書授与）
      - ア、開かれた議会として今後求められること
      - イ、これから議会広報の在り方
      - ウ、開成町議会がより良くなる方法
- (7) 条例づくり
  - 『開成町議会ハラスメント防止条例』
  - 『開成町読書推進条例』
- (8) 令和 4 年度全国町村議会特別表彰 受賞
  - ・第 18 回マニュフェスト大賞 議会改革賞 受賞
- (9) 本当の成果
  - ①議会だよりを若い世代にも読んでもらえるようになった
  - ②議会ウェブサイトの動画・・・議会を知る機会の創出
  - ③YouTube 再生回数がリアルな反応
  - ④議員自らが動く、開かれた議会の実現につながる

## ⑤議場の利活用で児童に議会の関心・理解が深まっている

### (10) 開成町議会の覚悟

「わたしたちのまちは議会から変える」

### (11) 改革を進めるために・・・

①「議員」ではなく、「議会」活動として住民目線の改革を

②幅広い世代に議会に関心を寄せてもらう

③一過性の改革ではダメ・・・明確な目的があり、速やかに結果が表れなくとも、将来的に継続が必要

④時勢に合わなくなったら、「見直す勇気」

⑤すべては町民の為、町民と共に⇒広報を最大のツール

多岐にわたる議会改革を連動させる

アクションとして展開

10月24（金）寒川町議会広報広聴委員会

### ◎広報広聴の取組みについて

説明者= 議長 岸本氏、

広報広聴常任委員会 委員長 太田 氏

〃 副委員長 吉田 氏

### ◎寒川町

人口 ; 48,381人

行政面積 ; 13.42 km<sup>2</sup>

### 1. 広報広聴の取組みについて

#### 【編集体制】

##### ○広報広聴委員会と議会事務局の共同編集型

広報広聴委員会—割付後の原稿確認、表紙の選定

議会事務局—一般質問以外の記事全般の作成

一般質問をした議員は自分の原稿作成

#### 【全体イメージに関する取り組み】

##### ○「高座」の心—寒川町ブランドスローガン

穏やか、やさしさ、温かさ

ブランドカラー（茶色、水色、緑色、だいだい色）で色調統一

#### 【レイアウト・記事内容の見易さ、わかりやすさ】

##### ○リニューアルして、

①縦書き⇒横書き

②段組み記事⇒ ピックアップ記事

③賛否結果⇒ 議員別の賛否がわかる形

#### 【議会ラボ】

・主権者教育に資する

・小学生と保護者が対象

・わかりやすい生地、おさらいクイズなど

## 【第34回町村議会広報全国コンクール奨励賞受賞】

### 【課題】

- ・掲載記事の固定化
- ・読者の目を引く、読みたくなるレイアウト、見出しの工夫
- ・表紙
- ・住民参加型記事の企画
- ・今後は読者アンケート実施

### 【議会だより音声版の作成】

### 【議会テーマソング】～♪「みんな主権者」、

### 【議会動画】～「議会チャチャチャ」

- ・議会を身近に感じてもらうための作曲
- ・テーマソング、動画の活用としては、  
「親子体験ツアー」開催時にBGMとして使用  
「ユーストークカフェ」 リ控室で上映

### 《所 感》

開成町議会広報紙の「ウェブサイトと広報紙の両輪で」という広報紙の改革は、リアルタイムで情報発信することができ、有効であるということを学んだ「東員町議会広報広聴委員会の令和5年度視察」で訪問させてもらって、2年後、今回2度目の開成町議会広報広聴委員会訪問でした。開成町議会議員さんも全員同じ議員さんで議会事務局の担当者の方も同じ方でした。視察内容については、ほぼ2年前と同等でしたが、2年前よりも確実にバージョンアップされていました。議会ウェブサイトの動画を増やすことにより、議会だよりを若い世代にも読んでもらえるようになったと言う事は最大の成果です。YouTube再生回数がリアルな反応として現れ、議会を知る機会の創出を積極的に取り組まれている姿に、我々東員町議会広報広聴委員として大きな刺激を受けました。

東員町議会広報広聴でも思い切った広報の改革に、チャレンジ精神で取り組めると良いと思います。「議員自らが動くことが、開かれた議会の実現につながっている」というとても力強いお言葉をいただきました。また議場の利活用に果敢に取り組まれていて、小中学校の授業に議場を使うことを推進したり、学習の場・自習室として夏休み期間中に開放するという取り組みに、驚かされました。令和6年度利用実績として24日間でのべ176名の児童が議場で学習する場として利用し、「児童に議会の関心・理解が深まっている」という報告でしたが、児童が議会に関心を持つことすなわち、当然のことながらそのご家族も、議会の関心を深めていただけることになります。議場開放の実施については、細かいルール設定など、協議することがたくさんありますが、将来的に東員町議会においても検討してみるのも悪くないと思います。寒川町議会の広報広聴は議会事務局との共同編集ということで、我が東員町議会広報広聴委員会と比較して委員会の回数も2回のみで少なく、記事作成も一般質問記事以外は事務局の方が作られ、表紙写真も事務局担当という編集体制でした。町のブランド「高座の心」という理念が一貫して議会だよりの編集にも貫かれていて、町への愛着心を住民の方と共有できるツールとしての「議会だより」と感じられて、良いと思いました。議会ソングを作られているというユニークな取り組みについても、住民の方が議会を身近に感じていただける一つの取組

として参考になります。

両町議会の広報についてそれぞれ学ばせていただき、東員町議会だよりの次号から活かせるヒントをたくさん持ち帰り、二日間の視察は有意義でした。議会だよりのリニューアルをしたばかり、まだまだ変化が生まれる伸びしろがたくさんある「東員町議会だより」を「変える楽しさ」「変わるもの」を感じながら、今後も議員の皆さんと検討しながら取組を進めていきたいと思います。

自己満足型の議会広報では、結局読まれないものになってしまうので、住民のニーズ、住民の感想を聞く姿勢も取り続けるべきであると思います。紙代、配布委託費などの費用がムダ、つまり税金の無駄使い等に絶対ならぬように、広報編集に臨む厳しさを今回の視察先の両議会でもお持ちであるのは東員町議会広報広聴委員会と同じであるということも感じました。

今まで以上に、多くの人に議会だよりを見ていただき、「議会を知ってもらう」「議会に关心を持ってもらう」「若年層にも关心を持ってもらう」幅広い世代の住民の方が議会、町政に关心を持っていただけるようにし、議会がどのように住民の皆さんのが生活に関係しているのかを広く認識してもらいたいと思います。

引き続き、印刷以外は手づくりで心を込めた「東員町議会だより」編集の委員として、委員会の皆さんと協力して務めていきたいです。